



こんにちは 日本共産党

清水とし子です

発行・日本共産党日野市議会議員 清水とし子

日野市多摩平4-1-1（清水事務所）

メール jcpsimi@jcom.zaq.ne.jp

Facebook「清水登志子」で検索

携帯 090-6102-7555、事務所 042-582-1042

地元農・畜産・水産物を使った商品開発でまちおこし

日本共産党日野市議団 大分県宇佐市視察報告

日本共産党日野市議団は7月11日～13日、大分県宇佐市（6次産業化）、大分県別府市（障害者差別解消）、福岡県八女市（デマンド型交通）の視察を行いました。今回

は宇佐市の6次産業化について報告します。

宇佐市は大分一の穀倉地帯で、米、麦、大豆の他に、中山間部では柚子やぶどうが栽培され、水産物なども豊富です。

宇佐ブランド認定証品104品目、年間販売額約13億円

H25年から、宇佐市内でとれた農畜産物や水産物を主原料とした加工品や、宇佐市内で製造加工されている加工品のなかから「宇佐ブランド認定証品」を選定しています。

認定審査は、食品関係の学識経験者や百貨店の仕入れ担当経験者などが、商品の基本的な考えや独自性、市場性などの基準で判定をしています。応募数の約3分の1弱が不適合となる厳しい審査で、宇佐ならではのもの、物語性や製造者の熱意などが大切だとのこと。

宇佐ブランド認定証品（104品）の昨年度販売総額は、約13億円にも上っています。

販売の主力は焼酎で、宇佐産大麦ニシノホシを使った「西の星」が有名だそうです。

また、人気のうどん屋さんが作った「かやくごはんの素」（写真：3合用695円）は、手ごろな価格、混ぜるだけという扱いやすさから、よく売れているとのこと。



宇佐ブランドを支える組織や支援制度

宇佐市では、6次産業化を推進するために、施設設備に対する補助だけでなく、人材育成セミナー、マーケティングアドバイザーによる個別支援事業、マーケティング調査や試作品の作成に対する補助も行い、人材や商品開発のノウハウにも力を入れています。

そして、市、商工会、農協、漁協、観光協会などで6次産業推進協議会をつくり、

認定審査にも関わっている百貨店仕入れ経験者などが、そのアドバイザーをしています。

今後の課題としては、①個々のスキルアップと異業種間のネットワークの拡大、②生産と加工のマッチングによる高付加価値商品の開発、③宇佐ブランド認証品を中心とした販路拡大、関係機関の連携強化の四つが挙げられています。

日野産大麦100%の夢をかなえた TOYODA BEER

宇佐市の担当課も驚いていたのが、日野のTOYODA BEER(トヨタビール)。

130年前に日野で作られていた多摩地域最古のビールを復刻し、さらに、今年は日野産の大麦だけで作られたプレミアムトヨタビールを完成させました。

豊田の旧家の調査のなかで、ビールのラベルやびんが発掘された時に生まれた「このビールを日野産の麦で作りたい」という夢を実現するという物語は、6次産業化をする際に重要な要素だとのこと。

欠陥機オスプレイから 市民の安全を守るパレード

オスプレイの横田基地
配備ストップ！

敵地に攻め込むための
夜間・低空の飛行訓練を
市街地でやるなんて、
許せません！
学校・保育園や病院の上空は
飛ぶな！
お誘い合わせて、ご参加ください。

8月4日(土)

午後4時45分 多摩平第1公園に集合

*市立病院の隣り、JR豊田駅北口から徒歩10分

旭が丘中央公園までパレード(約45分)

公園で集会 午後6時20分ごろ終了(予定)

主催：オスプレイの危険と配備を考える日野懇談会

〔連絡先〕 古荘 592-3806 磯崎 586-3309 清水登志子、有賀精一市議会議員